

年 月 日

被疑者 △△ △△

上申書

福岡区検察庁 御中

弁護士 ☆☆ ☆☆

上記被疑者に対する窃盗被疑事件について、次のとおり上申いたします。

1 被害弁償について

被疑者は、○月○日、弁護人を通じて本件被害者（○○○店長）へ被害弁償の申入れをしました。

被害店店長は被疑者の境遇等に同情と理解は示してくれたものの、被害者会社（○○株式会社）が万引きの被害弁償等には応じないという方針により、申入れを拒否されました。

そのため、本日（○月○日）、福岡法務局へ賠償金○○円を供託いたしました。

2 被疑者の反省

本日、被疑者と接見したところ、被疑者は、自己の犯行について、母親として決して許されないものであったこと、被害者に多大な迷惑を掛けたこと等を述べ、弁護人に謝罪文（別添）を手交しました。この謝罪文は弁護人からの指示ではなく、被疑者の自発的意志によって作成されたものです。また、弁護人が被疑者に子供の現状（母親のことを心配して毎日泣いていることなど。）を伝えたところ、被疑者は泣きながら、自らの犯行を悔い、二度と犯罪は犯さないと述べておりました。

3 身元引受人

被疑者には、父親（〇〇）がおり、被疑者のことを案じ、昨日も〇〇署まで接見に赴き下着等の差し入れを行っております。父親はこれまでも被疑者のことを監督していましたが、本件犯行当日は偶々一緒にいなかったということです。そのことを後悔し、今後は確実に監督指導していくことを誓約しています。

4 意見

以上の状況から、寛大な措置をお願い申し上げます。

以上